

# 躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人  
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保 文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



## 住吉大神の導きのもと

## “真理に生きる喜び”をともしよう!!

### 《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

### もつと度々感謝しましょう

朝目がさめたとき、一晩やすらかに眠れたことを感謝いたしましょう。眠れなかつた人も、兎も角、眠るだけの寝床を与えられたことを感謝いたしましょう。そして眠っている間も、寝床に入っている間も、心臓を鼓動させ、肺臓を呼吸させ、食物を消化する働きを営んで下さった神様に感謝いたしましょう。そして、今日、又有難い働きをさせて下さる「今日」を与えられたことに感謝いたしましょう。

そして寝床に入る前には、今日一日、神の恵みによって色々のよき物を与えられ、神の智慧によって幸福に一日を過ごさせて頂きました事に感謝いたしましょう。

「今晚も亦、神の平和を私に流れ入らせ給うてやすらかに眠ることが出来、そして又明日、神様のお仕事に励みますための力がたくわえられますように」と祈ることに致しましょう。こうして神に感謝して眠りますと、翌朝目がさめたときには、直にすがすがしい、これが神の子の朝だ! と云うような喜びの朝が迎えられるのであります。

(新装新版『真理』第1巻 234頁)

### 立教記念日に当たり

生長の家社会事業団の

聖なる使命の邁進を決意します

理事長 久保 文剛

本年3月1日は、尊師谷口雅春先生が、生長の家大神より「今起て!」との神啓を受けられて一千部の個人雑誌『生長の家』を創刊され無代進呈を開始された昭和5年3月1日より96年目の立教記念日です。

そして、昭和20年11月、谷口雅春先生は「立教の使命を成就せんが為」との聖なる目的をもって「生長の家社会事業団の設立」の大構想を戦後復刊第一号の『生長の家』誌に発表されます。

後年、谷口雅春先生は、聖典『大和の国日本』の「はしがき」において次のとおり明記されています。

「私は、復刊された『生長の家』十一月号に「生長の家社会事業団の設立」という文章を発表したが、それは日本再建のための一大政策であった。戦前の主たる生長の家の教化方針は、個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解消といった、個の救済に専ら向けられていたが、戦後はそれをさらに政治力にまで発展せしめ、立教の本来の使命である真の政教一致と、世界救済を目的とするところの「生長の家社会事業団の設立」を提唱したのであった。従って、これ

は戦後の生長の家人類光明化運動の発進宣言ともいう



「生長の家社会事業団の設立」が収録されている『大和の国日本』

べき文章であるのである。」(傍線付記)

すなわち、生長の家社会事業団の設立こそ戦後の生長の家人類光明化運動の発進であったことを断言されているのです。

正に、生長の家社会事業団が立教以来最初に「生長の家」の名称を冠した国家公認の法人である歴史的事実がそのことを裏付けており、生長の家社会事業団こそ生長の家の本家本元であると識者から論評されています。

昭和7年2月9日、生長の家大神より尊師谷口雅春先生に天降った「上求菩提・下化衆生の神示」には次のとおり示されています。

「わが第一の神殿は皆の誠によって形の世界へ顕われたから第二の神殿に取りかかって貰わねばならぬ。第一の神殿は聖典『生命の真相』であって智慧の神殿である。第二の神殿は愛の神殿であって、神が愛であり、愛は癒やす力であることをご知らず『見真道場』である。智慧と愛と両つの神殿が『生長の家』に揃えば全世界の地上天国建設の心柱が出来るのである。」

この神示には正統な生長の家である生長の家社会事業団の重大な使命が示されています。すなわち、第一には聖典『生命の真相』を永遠に護持する使命であります。第二に愛の神殿である「谷口雅春先生報恩全国練成会」を開催して、大神の愛と癒しを実現する使命であります。創立80年を迎え、私たち生長の家社会事業団は聖なる使命の邁進を決意します。

# 新春練成会に1110名結集！ “神癒と新生のよろこび” 続々！！

1月30日から2月1日まで、令和8年の出発となる「第13回谷口雅春先生報恩全国練成会」が開催され、全国各地より1110名の方々がご参加くださいました。練成最終日には、ゲスト講師の百地章先生（日本大学・国士舘大学名誉教授より）「天皇国日本の実相顕現のために」と題する特別記念講演を賜りました。講演の素晴らしさもさることながら、先生ご自身が小学生の頃から青少年練成会に参加されて、谷口雅春先生の御教えのお陰で今日があるのご体験は、参加者に深い感銘を与えました。

## 参加者感想文より

### 今日から私の新しい出発！

埼玉県 O.K. (76歳)

参加の動機は、主人が二回目の心臓の不整脈の手術を受けることがきっかけです。一回目は失敗しているのです、今回は無事に成功してほしくて主人を連れての参加でした。

二泊三日の短い期間でしたが、本当に中身の濃い練成会でした。主人の為に来たと思っていた練成会でしたが、本当は自分の為だと気付きました。長女の私は常にしつかり



新春！新たに生まれ変わってここから出発!! (2日目記念撮影)

しなくてほと思、又、親からも良い子だと云われていた自分はいつしか良い人を演じるようになっていきました。生長の家に

初めて報恩全国練成会に参加させて頂きました。今まで練成会には白鳩会で毎回参加していましたが、今回ほど新たな気づき、発見、感動を味わったことはありません。どの講師の話をお聞きしても、そうだそうだと強く感銘を受けました。本当にこの練成会の雰囲気感動しました。一人で本を読む時よりも、皆様と大勢の中で学ぶことは深く心にうがち入るようでした。聖歌を何回も聞かせて頂き心が清まりました。会場でお世話して下さる皆様にも大変深切にしていたいただき難かったです。

です。お礼申し上げます。本当に新生したような気分です。

### 今を生きるべきだと気づきました

茨城県 平井敦士 (19歳)

日頃から他人のよくない部分を見つけてしまい人間関係に疲れを感じる事が多いのですが、練成会に参加して改めて心の法則というものを深く実感し、実相を観ずるようになっていきたいと強く感じました。そのためによく笑い、深切をしてみたい。そのために生活を実現したいと思、万物に感謝する生活を実現したいと思、私と弟に病があり、その環境がすごく嫌で親を心の底から好きになれない自分がいたのですが、先祖供養や父母への感謝の講話を聞いて、今からでも感謝の気持ちを深くしていきたいと感じました。

座談会にて安東先生から「峠に出ると答えが見えてくる」とご指導いただき（詳細は後掲）、私は今を生きるべきだと気づきました。今ここに神様の生命を実現したいと思ひます。

## 全体座談会での「コマ」

練成会で行われる四回の座談会の内、二日目の午後に行われた座談会の「コマ」を掲載します。

### ○人間の使命について

平井敦士 人は使命を持って生まれてくるといいますが、僕は今、情報系の大学・学部に通っていますが、将来は技術者になりたいと思ってるんですけど、それが本当に自分が目指すべきことなのか、これが使命だと思って全力で取り組むだけの理由が本当にそこにあるのだろうか、自分のできる範囲で、絶対的に信じていけることができて悩んでいます。

安東巖先生 若い時代はみんなそのことで悩むわけです。谷口雅春先生がまだご存命の時、生長の家の学生を集めた学生道場というのが東京にありまして、その学生道場の学生と雅春先生はよくお話をされたんですね。ある時、平井さんが今言ったのと同じような質問が出た。

それに対して雅春先生がどう仰ったかという、今自分が森の中を歩いていて、この道がどこに通ずるか分からない。でもその道を一歩懸命歩いて行くと視界がひらけ、やがて峠に出る。峠に出たら周りの状況がよく見えてきて、自分は何をすべきかということが自ずから分かる。そのように今与えられている使命、今与えられている仕事を一所懸命やっていたら、一生のやるべき使命とか仕事が見えてくる時期が来る。今与えられていることを一所懸命やりなさいということを仰って、僕は非常に納得したことがあったんですよ。

それで、平井さんが今与えられている仕事を一所懸命やっていたら、何をやるべきかは自ずと心の奥底から見えてくるんだろうなと思うのが僕のアドバイスです。

### ○宗教嫌いの友人に御教え伝えるには

中村江利子 友達が今パウハラに遭っていて、毎日「今日も辛い、今日も辛い」ってネガティブなラインが来ます。その方が私が御教えに触れていることは知っています、教えることを言うと「ちよっと」となっています。私は陰ながら祈ってるんですけど、そういう方にどのように伝えて、いい方向にもって行ってあげたらいいのかなっていうことで悩んでいます。

安東巖先生 回答になるかどうか分かりませんが、二週間ほど前、「輝く女性と

母親の会」の研修がありました。その時の話題は、愛の展開として、伝道をやるにあたって「生長の家」が宗教であることに抵抗を感じる人が多くて、宗教だからなかなか話せないという話題になったわけです。

その時に僕は、宗教だから眉唾物（まゆつぼもの）で入るまいという考えもあるけれども、宗教だから救われるということはあるんだよって言ったんですよ。

それはどうということかというのと、谷口雅春先生が昭和38年4月号の『光の泉』に書かれている御文章で、生長の家では心が変わったら病気が治るといいますが、心が変わってもなかなか病気が治らない人もいます。それはいわゆる心の流れの後遺症（ごいせい）というか、情（じやう）力が続いているのだ。今心はきれいになっていくけれど、前の流れがあるんだと。

例えば100メートル走を走ったら、ゴールの後も10メートルぐらいは走りまわす。それを治すにはどうするか。神からつかわされた高級霊（たかじゆう）に援（たす）けてもらうことが必要である。そんな時に『生命の真相』や聖經『甘露の法雨』を読むと、そのリズム感にのって生長の家の神や観世音菩薩（くわんぜいおんぼさつ）や高級霊（たかじゆう）がやってきて治してくれていることが起こると、そういうことが書いてあります。それを信じるかどうか。宗教だから救われる道はあるわけです。心が変わったら救われるけれど、心が変わり得なくても救って下さる守護神・守護霊の導きもあるということですよ。

僕は今マンションに住んでいます。25日の話ですから今から6日前の話です。近くの公民館でマンションの理事会があるので、その朝杖（あさづき）ついでマンションの前の道路を横切り、コンクリートの歩道の上の段差を一步上がったんですよ。そして歩こうとしたら左足がクニャッとなった。僕は二、三年前からリベラル左翼の悪口ばかり言っていたら（笑）、左足が時々クニャクニャなるようになった。それでコンクリートの上に真向かいにひっくり返ったわけですよ。その瞬間、若い夫婦が後ろを歩いていて、旦那さんが僕の頭をこうして持ってくれたわけですよ。（感嘆）それで僕は頭を打たなくて助かったんだけど、その旦那さんがいい人で「良かった良かった、良かった良かった」って喜んでくれた。

そういうことについてはあるんですね。雅春先生が書かれているように高級霊が瞬間的に守り抜くと。だから、宗教だから嫌だなどという人もあるけれども、宗教だから救われる。神の導き、守護神・守護霊の導きもあるということ。それに頼った方がいいよっていいことば言ってもいいんじゃないかなというのが僕の今の考えです。



喜びの発表や質疑応答で盛り上がる全体座談会

第14回谷口雅春先生報恩全国練成会  
6月5日（金）〜7日（日）

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

## 春のお彼岸には多くの霊牌を奉納しましょう

今此処に生きています（こゝ）が如く

井手本 昌久（第3回）

先逝きし人を忘れない！

東日本大震災の発生から本年3月で丸15年。被災地の復興が進む中でも、遺族の悲しみは歳月を経ても癒えることなく鎮魂の祈りは続いています。

そうした中、岩手県陸前高田市の莊嚴寺（しょうごんじ）での供養の実際を知り、感じるものがありましたので要約して次に紹介します。

莊嚴寺の本堂の両側の壁一面には震災犠牲者の名前が書かれた半紙が掲げられています。それは平成31年4月に同寺にやって来た、高橋月麿（つきまろ）住職が、「犠牲者の無念、そして残された遺族の心が少しでも和らぐように」との供養の意味を込め、半紙に13人ずつ犠牲者の名前と年齢を墨書して行かれたもの。最初は岩手県を中心に4747人、続いて県内全域、宮城、福島と筆をとり、13回忌を迎えた令和5年には1万5770人分を書き上げます。そして日々の勤行で自ら墨書した一人一人の名前を読み上げ、また月命日の11日には午前6時過ぎの夜明け前の本堂で名前を読み始め、休憩を入れつつ、読み終えるのが午後2時過ぎ。そして地震発生時刻の午後2時46分に経を上げながら鐘を突き、海に向かって合掌。これが月命日の供養の日課であるとのこと。高橋住職は次のように語ります。

○「人は亡くなっても誰かの心の中で生き続ける」との意味を込め、戒名ではなく生前の氏名を詠み上げています。

○「被害の規模で示す人数で語られがちな犠牲者たちにも、一人一人名前があり、人生があった」

○「今を生きるわれわれにできることは、犠牲者を思い続けること。名前はその人が生きた証し」

○「亡くなった方々を悼み、思い続ける。それが僧侶のあるべき姿だと信じている」

先逝きし人を忘れずに思い続けることは、僧侶のみの勤めではなく、私達自身の勤めであり、供養の大切な心であると改めて感じたことでした。

祖先とも生きて！

現在、明治時代に米国より来日し、日本に帰化した小泉八雲（ラファディオ・ハーン）の妻、小泉セツをモデルにしたNHK連続テレビ小説『ぼけぼけ』が放送されていますが、小泉八雲は、彼の著作『心』の中で、日本人の死者に抱く感性について次のように語っています。

「日本人の死者に対する愛情は、どこまでも感謝と尊敬の愛情である。おそらくそれは、日本人の感情の中でもいちばん深く強いものであるらしく、国民生活を指導し、国民性を形成しているのも、この感情であるらしい。（略）日本人は、決して、ただの記憶になった祖先」などというものを考えていない。かれらの死者は、げんに生きているのだから」

このように語り、日本人が祖先をあたかも生きていくかのように遇し、祖先に見守られて暮らしていることに羨望の思いを抱いています。

「祖先とともに生きている。この感性が日本人の生活と文化の根底にあるのですね。」

3月、春のお彼岸です。御一家で供養もれないように、先逝きしすべての人々（親族・縁族、恩人・友人）を心に思い浮かべて、その一人一人のお名前を「霊牌」に清書し、奉納致しましょう。（元徳島・鳥取・宮崎教区教化部長）

生長の家の御教えを正しく護り伝えるために!!

# 1口 33 万円の特別献資に ご協力ください!! (分割も可)

<当事業団が行っている五つの創立記念事業>

- ① 聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』の永遠の護持
- ② 谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③ 「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④ 「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤ 「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から 80 年前の昭和 20 年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなすとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。

このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につな

ぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

(同封のご寄付のチラシをご参照ください)

## 「生長の家社会事業団創立八十年奉告祭」 — 住吉大神の御導きのもとに更なる前進を誓う



去る 1 月 8 日、谷口雅春先生報恩全国練成道場において「生長の家社会事業団創立八十年奉告祭」が執り行われました。

御祭りには社会事業団理事・監事並びに谷口雅春先生を学ぶ

会及び新教育者連盟の代表者等にご参列いただき、生長の家大神様と谷口雅春先生に御奉告申し上げるとともに、社会事業団設立の趣旨に賛同しご支援をいただいていた全国の先達同志に感謝を献げました。

又、教団は住吉大神を生長の家の本尊の座から脇神に押し込めていますが、生長の家社会事業団ではその住吉大神の御神霊を「谷口雅春先生記念図書資料館」の屋上に社殿を設けて奉斎しています。創立 80 年を期し、日本国家を千万年安泰にする霊的礎を築くために建立された龍宮住吉本宮の建立目的を復活し、「生長の家大神は住吉大神である」との教えを護り伝えるために、それにふさわしい「聖地となる社殿、の建立に取り組んで参りたいと存じます。

全国の皆様にはこの趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜りますよう心より御願ひ申し上げます。(理事長・久保文剛)

※生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置(税額控除等)の対象となります。

### 「谷口雅春先生記念図書資料館」行事案内

◇ 神示祭 11 時～ 屋上の「龍宮住吉本宮社殿」にて  
3 月 14 日、15 日、16 日、4 月 5 日、10 日

◇ 『真理』勉強会 13 時半～15 時半  
3 月 14 日(土)、4 月 4 日(土)  
指導：熊本司講師(元本部講師)  
本社：新装新版『真理』第 3・4 巻



◇ 『生命の實相』輪読会 13 時半～15 時半  
3 月 22 日(日)、4 月 22 日(水)  
指導：久保文剛講師(理事長)  
新編第 17 巻(頭注版第 9・10 巻) 霊界篇



◇ 定期一般開館日 原則第 1・3 木曜日 11 時～15 時  
3 月 5 日・19 日、4 月 2 日・16 日

◇ 輝く女性と母親の会  
「さくらそうの会」誌友会  
3 月 2 日(月) 13 時 15 分～16 時  
講師：木下千鶴子講師  
責任者：佐藤康江

所在地：東京都国立市  
富士見台 3-31-14  
最寄駅：JR 南武線  
矢川駅(徒歩 3 分)

### わが願いの成就、宇宙浄化・鎮護国家(皇統護持、憲法改正等)のための聖經百巻・千巻読誦に励みましょう!! —実践者喜びの声—

○夫の昇天から立ち直ることが出来ました

—昨年、夫が亡くなってから体調を崩していましたが、昨年 1 月に参加した谷口雅春先生報恩全国練成会で「聖經百巻読誦表」を頂き、千巻読誦を決心し達成しました。9 月頃から体調が良くなり、日々元気に生活出来るようになりました。次の千巻読誦に励みたいと思います。

○神の子の自覚を高める聖經読誦

周りの方の実相圓滿完全を想い描きながら、また社会安寧を願い、神の子の自覚を高めるために聖經読誦をさせていただいています。

○家族の幸せと社会の平和を祈願して

一年をかけ聖經『真理の吟唱』『甘露の法雨』の一千巻読誦が達成できました。一日三巻読誦を生活の中に取り入れ、家族の幸せや社会の平和を祈らせていただいています。40 年以上も前に御教えに触れていましたが、改めて祈ることの大切さを感じています。二千巻読誦に向けて進んでいきます。(「聖經百巻読誦表」のお申し込みは生長の家社会事業団まで)

### 3 月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(日)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10 時半～	道場
14(土)	『いのちのゆには』の神示祭 『真理』勉強会(熊本司講師)	11 時～ 13 時半～	社殿 図書館
15(日)	使命邁進の神示祭	11 時～	社殿
16(月)	至上者の自覚の神示祭	11 時～	社殿
22(日)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11 時～ 13 時半～	社殿 図書館
29(日)	物故者 顕彰慰霊 先祖供養祭	11 時～	道場

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しい御教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

### 4 月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(水)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10 時半～	道場
4(土)	『真理』勉強会(熊本司講師)	13 時半～	図書館
5(日)	萬教歸一の神示祭	11 時～	社殿
10(金)	無相圓相一切相の神示祭	11 時～	社殿
22(水)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11 時～ 13 時半～	社殿 図書館
26(日)	物故者 顕彰慰霊 先祖供養祭	11 時～	道場

第 13 回 全国大会 (谷口雅春先生を学ぶ会)

4 月 19 日(日) 10 時～16 時 明治神宮 神宮会館

ゲスト講師 門田 隆 将 氏 (作家・ジャーナリスト)

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う

「神癒・聖經供養」祈願 (奉納金は随意)  
問題解決、神癒の体験続々と!

神様の祝福に包まれた幸福人生を招く  
「聖使命奉讃会」(月額一口 1,000 円)  
にご入会ください。

生長の家社会事業団公式 HP のご案内

スマートフォンをかざして QR コードを読み取っていただきますと、生長の家社会事業団の公式ホームページが表示されます。本機関紙のバックナンバー、主催行事・後援行事のご案内、情報公開等を掲載しています。どうぞご覧ください。



金の多寡(多いことと少ないこと)によって幸福が来るのではない。金に対する一切の執着を切り切つて、ただ愛を、智慧を、生命を、国のために、隣人のために献げ切つたとき喜びが来るのである。(新編『生命の實相』第 59 巻 幸福篇 131 頁)